



2020年8月3日

各 位

会 社 名 株式会社ディー・エル・イー
 代 表 者 名 代表取締役社長 勝山 倫也
 (コード番号：3686 東証第一部)
 問 合 せ 先 執行役員 経営管理本部長 松本 博数
 (TEL. 03-3221-3980)

業績予想に関するお知らせ

2020年5月18日に公表いたしました「2020年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」において未定としておりました2021年3月期の業績予想を下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想について

2021年3月期通期連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	—	—	—	—	—
今回発表予想 (B)	905 ～ 1,084	△649 ～ △531	△650 ～ △532	△582 ～ △469	△13.75 ～ △11.08
増減額 (B-A)	—	—	—	—	
増減率	—	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (注：9ヶ月決算)	597	△441	△440	△438	△10.35

(注)2020年3月期は決算期変更により、2019年7月1日から2020年3月31日までの9ヶ月間となっております。

2. 業績予想公表の理由

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルスの感染拡大が当社グルー

プの事業活動に与える影響について、合理的に算定することが困難なことから未定としておりました。その後、緊急事態宣言が解除され、徐々に経済活動も再開されていることから、現時点で入手可能な情報や予測等に基づき算定し公表することといたしました。

新型コロナウイルス感染拡大の影響が一定期間にわたり継続すると想定する中、当社グループの事業に関しては、在宅でも楽しめる SNS、動画配信サイト、ソーシャルゲーム、コミュニケーションアプリ、動画編集・投稿アプリなどのサービス利用の拡大も期待されますが、一方で、景況感の悪化に伴うクライアントやパートナー企業の各種予算縮小などの影響も懸念されております。

当社グループではこのような影響を注視しながらも、引き続きセールスプロモーション事業における広告・人材投資といった基盤整備と合わせ、既存 IP を活用した新規ビジネスモデル構築、新規 IP 開発といった将来の収益獲得のための投資を行うため、2021年3月期は営業損失を見込んでおります。なお、これらの取り組みの成果が現れるタイミングや新作タイトルのヒット度合いにより業績が変動する事業特性を鑑み、案件の受注可能性や売上規模の確度を見積もった上で、レンジ形式での業績予想としております。

なお、業績予想には、本日公表の「過年度住民税等の還付に関するお知らせ」に記載の影響を加味しております。

(注意事項)

上記記載の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上